

えいよう通信



～糖尿病と合併症～ 網膜症

糖尿病が進行すると、合併症の1つとして眼にも様々な不具合が起こります。

今回は眼の働きと糖尿病性網膜症についてお話をさせていただきます。

私たちの眼をカメラに例えると網膜は「フィルム」にあたる部分です。光や色を感じる神経細胞が敷き詰められ、無数の細い血管（毛細血管）が張り巡らされている網膜は、瞳孔から入ってきた光を感知して電気信号に変えて脳に送る重要な役割を果たしています。

しかし、糖尿病により高血糖の状態が続くと網膜の毛細血管が少しずつ損傷を受け、変形や出血を起こすようになってきます。その結果、光の感知が鈍くなり視力低下を伴ってくるのが「糖尿病性網膜症」です。

糖尿病性網膜症は糖尿病に罹って数年～10年以上になると発症し、15年以上になると約半数の人に起こるというデータがあります。かなり進行しても自覚症状がないことが多く、治療が遅れてしまう傾向が問題となっています。

18歳以上の視覚障害の原因疾患の割合を見ると、糖尿病性網膜症は第3位となっています。

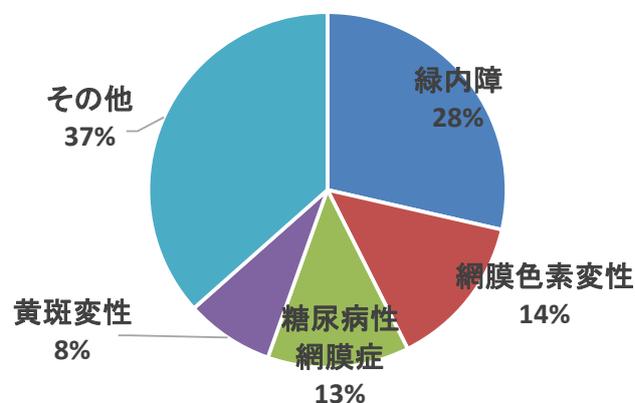
このような結果から、網膜症を発見するための眼の検査は定期的に受けることが重要です。

身体の中で血管や神経を直接見る事が出来るのは実は眼だけです。

定期的に眼科での検査を受け、小さな眼底出血の有無を確認する必要があります。

検査には、視力検査、眼圧検査、スリットランプ検査、眼底検査、光干渉断層検査などがあります。特に眼底検査は目の状態を把握するためにとっても重要な検査です。最低でも1年に1回は受診をして網膜症だけでなく、視力障害につながる白内障や緑内障もチェックして頂きましょう。

視覚障害の原因疾患 (H28)



涼しくなってくると夏の疲れがドッと出てきます!!!秋の夜長も楽しみたいところですが、皆様、ゆっくりたっぷり睡眠時間を取って体調を整えましょう!!!(^_-)☆

秋の味覚の中で好きなものは何でしょう？

私は梨や栗、そして秋刀魚！さらに新米!!!

梨を使ったデザートは最高ですし、栗ご飯を食べなければ秋ではない!!そして秋刀魚の塩焼きは秋の代名詞でもありますよね。

そして、入院の患者さまに『今日は新米ですよ!』とお声がけするのがとても楽しみです。

皆さん目を丸くして喜んで下さるからです。



緊急事態宣言が解除となり、我が家の次女は困った顔をしておりました。聞くと、部活が通常モードになるー!との事で…練習がきつくなるから、やなのだそうです。顧問の先生はとても厳しく指導してくださっているようで、『〇〇中学陸上競技部員心得』たるものがありその中のひとつに、

一、練習メニューを聞いてイヤな顔をしない

～顔に出した瞬間自分に負ける～

という一文があります。ちょっとハッとしませんでしたか。大人の自分の方が出来てないのではないかな～と…。つつい愚痴や言い訳を言ってしまったりして。と、反省してまた10月も頑張って参ります!!食欲の秋ですが、食べ過ぎに注意して元気に過ごしましょうねー(^_-)☆

小林